

総務委員会記録

令和8年1月8日(木)
14時00分～14時36分
第1委員会室

【委員】沖田委員長、柳楽副委員長、
戸津川委員、岡本委員、佐々木委員、西田清久委員、川神委員
【事務局】森井書記

【議題】

- 1 行政視察について（委員間で協議）
- 2 【取組課題】防災・減災について（委員間で協議）
- 3 その他

【別紙会議録のとおり】

【会議録】

[14 時 00 分 開議]

○沖田委員長

ただいまから、総務委員会を開会する。出席委員は 7 名で定足数に達している。それでは、レジュメに沿って進める。

1 行政視察について（委員間で協議）

○沖田委員長

先般、取組課題「防災・減災」の決定に当たり、各委員から取組課題に対する意見とともに視察先の候補についても提示された。そして、委員から視察の提案等もあったところである。

これらを踏まえ、当委員会の取組課題の参考にするため、先進自治体への行政視察について、正副委員長で行程案を作成した。書記から内容の説明をお願いする。

○森井書記

資料 1 の行程表案を参照されたい。今回の行程案は、1 月 29 日木曜日、30 日金曜日の 1 泊 2 日の行程である。移動は、交通事情等を考慮し、ジャンボタクシーの借上げを想定している。

1 日目の 1 月 29 日は、浜田市役所から愛媛県松山市へ移動し、午後 2 時 30 分から松山市役所において「松山逃げ遅れゼロプロジェクトについて」をテーマに視察を行う予定である。その日は松山市又は今治市での宿泊を考えている。

続いて 2 日目の 1 月 30 日は、午前 9 時 30 分から今治市において、今治市クリーンセンターの「“フェーズフリー” 防災拠点」をテーマに視察を行う予定としている。それぞれの視察先の詳細については、資料 1 の①から④を参考にされたい。

○沖田委員長

視察の内容について説明した。今回の視察は、行政視察に係る年間予算の残額や日程等を考慮して、正副委員長において設定したので了承されたい。

委員から、意見や確認しておきたいことがあればお願いします。

○岡本委員

行政視察の予算の残額は、いくら程度か。

○森井書記

委員の旅費予算は、1 人当たり年間 13 万円である。議員改選前に、総務文教委員会で視察を実施しており、そこで約 6 万 4,000 円を利用している。したがって、残額は 1 人当たり約 6 万 6,000 円となっている。

○沖田委員長

そのほか、意見はないか。

○佐々木委員

今回の視察先において、具体的にどのような内容を学び、それがどのように浜田

市の参考になるのか、改めて確認したい。

○沖田委員長

松山市の「逃げ遅れゼロプロジェクト」についての取組は、端的に言うと、災害時の逃げ遅れをなくすことを目的としている。また「マイタイムライン」の全戸普及を目指した活動が特徴である。

浜田市においては、この分野の取組が十分ではない状況である。各委員からも「自主防災組織の活性化」や「住民の防災意識向上」が課題として多く挙げられている。先進的に取り組まれている自治体の事例を学ぶことは、非常に有意義であると考え選定した。

○佐々木委員

今治市の「フェーズフリー防災拠点」についても願います。

○沖田委員長

今治市クリーンセンターは可燃物処理施設であり、当委員会の所管とは異なるように思えるが、災害拠点となっている。この視察候補は川神委員か。

○川神委員

フェーズフリーとは、日常時に利用している施設や備品を、災害時などの非常時にも役立てるという考え方である。例えば、公園の遊具が災害時には防災に活用されたり、ベンチの下に防災用品が収納されていたりする事例がある。公共施設などにフェーズフリーの概念を導入することは、防災上、非常に有意義だと昨今叫ばれている。

今回視察する今治市クリーンセンターは、平常時はごみ処理施設であるが、災害時にはそのまま避難拠点や防災拠点として機能するよう設計されている。特定の場所がどうこうということではなく、その発想を学ぶものである。今後の公共施設整備において、浜田市でもこのような「フェーズフリー」の視点を取り入れることが、災害に強いまちづくりに直結する。

浜田市のエコクリーンセンターを防災拠点にしようというのではなく、その根底にある考え方を学び、それを本市の公共施設や避難所の在り方にどう導入していくかという視点が今回のポイントである。

○西田清久委員

川神委員の言うとおりのことである。現在、多くの自治体でフェーズフリーの考え方が広がっている。先日、徳島県鳴門市の道の駅を視察した際も、道の駅の2階の子ども用プレイスペースが、災害時には全面避難所として活用できる二重の設計になっていた。こうした柔軟な発想を浜田市の施策に生かしていくため、今回の視察を提案している。

○沖田委員長

佐々木委員、よろしいか。

○佐々木委員

趣旨は理解した。

○西田清久委員

少し行程について確認したいことがある。

○沖田委員長

承知した。ここで暫時休憩する。

[14 時 45 分 休憩]

[15 時 10 分 再開]

○沖田委員長

行程の中で、松山市にせっかく訪問するので、松山市が導入している「トイレカー」についても併せて視察したい。可能かどうか事務局で確認をお願いします。

これに伴い、終了予定時刻が 16 時から 16 時 30 分頃まで延びる可能性があるので、ご承知おきいただきたい。

それでは、このような日程案で行政視察をするということで良いか。

(「はい」という声あり)

それでは、準備を進めるので、協力をお願いします。

なお、議長については、申し合わせにより毎年いずれかの常任委員会の行政視察に同行できることになっている。今回の視察について、あらかじめ議長に確認したところ、参加されるとのことなのでご承知おきいただきたい。

また、移動に使用するジャンボタクシーは 10 名乗りのハイエース等を想定しており、荷物の置き場が限られる。委員は、荷物は最小限にまとめるようお願いする。

次に、視察先に事前に送付する質問事項についてである。各自、視察テーマに沿った質問事項を考えてもらい、1 月 14 日水曜日の正午までに提出してもらいたい。

1 月 15 日には先方へ質問事項を送付するため、期限厳守でお願いする。様式については、後ほど書記からメールで送付する。

続いて、視察終了後は 14 日以内に委員派遣報告書を議長に提出する必要がある。また、行政視察レポートを作成し、全員協議会で議員と執行部へ報告することとなっている。これらの作成について役割分担を決めたい。

委員派遣報告書の取りまとめと考察は、正副委員長で作成する。行政視察レポートの作成と発表についても、正副委員長で行う。

松山市と今治市の報告について、どなたか担当をお願いしたい。

○西田清久委員

今治市の「フェーズフリー防災拠点」の報告を担当する。

○沖田委員長

それでは今治市を西田清久委員にお願いします。松山市の「逃げ遅れゼロプロジェクト」の報告はどうか。

○岡本委員

担当する。

○沖田委員長

それでは岡本委員にお願いします。視察先ごとの所感については、各委員よろしく
お願いします。

ここまでのところで、何か不明な点はあるか。

(「なし」という声あり)

2 【取組課題】防災・減災について

○沖田委員長

先日、日程調整したとおり、1月21日水曜日の午後1時30分から、執行部の防災
安全課と意見交換会を行う。このヒアリングに当たり、事前に各委員から提出され
た質問事項を取りまとめた。

資料2-①は委員ごとの質問内容、資料2-②はそれらを項目ごとに整理してまとめ
たものである。

これらの資料は既に防災安全課へ提供しており、可能な範囲で回答資料の提出を
依頼している。資料の提出は1月16日金曜日頃になる予定である。提出があり次第、
タブレットへ配信するので、各自事前に確認し、ヒアリングに臨んでほしい。

この件について、確認しておきたいことはあるか。

○岡本委員

ヒアリングの時間と場所について、改めて確認したい。

○沖田委員長

1月21日の午後1時30分から、場所はこの第1委員会室である。

そのほか何かないか。

(「なし」という声あり)

3 その他

○沖田委員長

レジュメの四角の枠内に、今月の総務委員会の予定を掲載している。各自、日程
の確認をお願いします。

その他、委員から何かあるか。

(「なし」という声あり)

ないようなので、以上で総務委員会を終了する。

[14時36分 閉議]

浜田市議会委員会条例第65条の規定により、ここに委員会記録を作成する。

総務委員会委員長 沖 田 真 治